

導入事例

新日本製鐵 様

毎年全社員が楽しみにしている
情報セキュリティ継続教育

新日本製鐵株式会社様 会社概要

- 設立： 1970年3月31日
- 従業員数： 15,503人（2009年3月末現在）
- 事業内容： 製鉄・エンジニアリング・都市開発
ならびにそれに付帯する一切の事業

eラーニング導入経緯

■eラーニング導入の背景

12,000名の約8割の社員が全国の製鉄所に分散する同社では、全社員を対象とした情報セキュリティ研修を一齐に実施するのが困難。そこで、大人数に対し短期間で教育を実施できるeラーニングを採用。

2005年に初めて採用して依頼、毎年実施。その後、コンプライアンス、品質保証等、コンテンツの種類を広げ、また、社内だけでなく、関連会社にも展開している。

コンテンツはすべて自製し、高い修了率を誇る。

■継続教育への工夫

2009年度は、社員それぞれの理解度におうじて学習ボリュームを調節できる「**アセスメント機能**」を採用。

過去2年間に実施した教育内容が社員に定着しているかどうかを「アセスメント」し、定着が足りない社員に対して再度教材を履修させるようにした。その結果、社員の定着度を定量的に把握し、定着不足の社員に対してのみ教材提供する効率的なeラーニングが実現できた。

事例概要と導入効果

■実施年度： 2005年度～2009年度

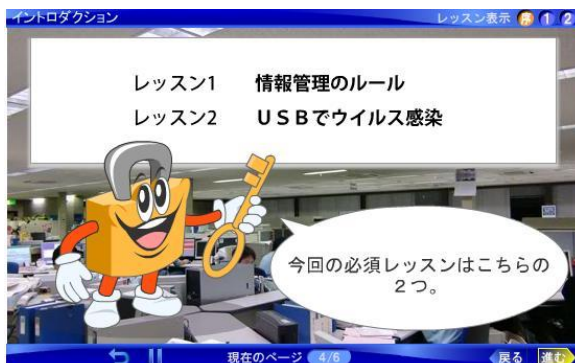
■対象者： 全社員約12,000名（その他、グループ会社約8,000名にも展開）

■学習内容： 新日本製鐵における情報セキュリティについて

■2009年度の実施概要

自社の事例をもとに、アニメーションを用いた必須レッスンと、2007年、2008年の研修内容から復習テストを設定し、その結果から復習が必要な社員には復習レッスンで知識の定着を行うコースで研修を実施。

その結果、大幅な「ムダ時間カット」を実現した。



**アセスメント（理解度チェック）
でムダ時間を大幅にカット!!**

